

とうきょうすくわくプログラム活動報告書2



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん

1. 活動のテーマ 〈テーマ〉

絵本「ぼくのがっこう」を題材にして、年長児のおわかれ会に向けて積み木コーナーを中心に絵本の世界観を作って楽しむ。

〈テーマの設定理由〉

絵本からあそびを広げていくことが多く、学校へいく年長児にとって親しみやすくみんなが知っている学校なので、すぐに興味を持ち、学校を体験するような感覚をもってあそびを展開したいと考えた。

2. 活動スケジュール

- 絵本を読み込む
- 校庭や教室のイメージをふくらませ、積み木やツリーブロックスを使用し表現した。
- 学校の授業に見立てて、ひらがなのぬりえを用意し、メッセージになるようにした。
- 時間割や黒板に見たてて布を用意し、当日（お別れ会）は学校の真似をして楽しんだ。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

（活動のためにどのような環境設定したか、準備した素材や道具）

- 絵本を読む、装飾をする
- 積み木、色板、ツリーブロックス、布、ラキュー、画用紙、段ボール、のりスズランテープ、ハサミ
- 絵の具、折り紙、テープ、色鉛筆、人形、

4. 探究活動の実践

〈活動の内容〉

「ぼくのがっこう」の絵本をもとに、積木やツリーブロックス、ラキューなどを使って校庭や学校の入り口、桜の木を作ったり、布や絵の具やクレヨンを使って看板や桜の花を子どもたちの手形で作った。
スズランテープなどで滝や学校のいす、机の飾りつけを行った。

〈活動中のこどもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり〉

（活動の内容、活動中見られた子供の姿、保育者との関わりなど）

校庭を作る際、「学校って校庭みたいかな?」「お兄ちゃんはずり台あるって言ってたよ」「でもうちのおねえちゃんの学校はないって」と意見がわかるため、じゃあ散歩で学校見に行ってみる?と提案すると、「うん!どんなものがあるか見に行きたい」と盛り上がったので、散歩で見学に行った。
帰ってきた後は「ブランコも時計もあったね」「桜の花も咲いてた。一緒だったね」と話しながら思い出していた。

5. 振り返り

〈振り返りによって得た大人の気づき〉

自分の身近なものが題材になると、いつも世界に入りにくい子どもも、同じテーマを共有しやすくなり、みんなで楽しむことができた。家庭でも話題にあがったようで、家で家族に聞いた話を、保育園でみんなに伝えてくれたり、保護者からも身近なテーマで、みんなで話ができるため、とても楽しみに保育園での話を聞けるようになったという話を聞き、家での会話のきっかけにもなり良かった。



こどもの「すくすく×わくわく」をおうえん